

鹿屋体育大学倫理審査小委員会 オプトアウト書式

今回の研究の実施にあたっては、鹿屋体育大学倫理審査小委員会の審査を経て、許可を受けています。この研究が許可されている期間は、令和 9 年 3 月 31 日までです。

①研究課題名	鹿屋体育大学における新型コロナウイルス感染症と課外活動に関する研究
②対象者及び対象期間	2022 年 1 月～2023 年 5 月に鹿屋体育大学保険管理センターに報告があった新型コロナウイルス感染者 443 名
③概要	新型コロナウイルスの最初の感染者は 2019 年 12 月に中国の武漢市で報告されました。感染は世界中に拡散し、WHO は 2020 年 3 月に世界的大流行（パンデミック）と認定しています。日本国内での最初の感染者は 2020 年 1 月に確認されました。原因ウイルスである SARS-CoV-2 は変異を繰り返し、現在でも依然として公衆衛生上の懸念される感染症です。アスリートにおける新型コロナウイルス感染は競技力の低下につながり、各種競技会への参加にも関わるため大きな問題であると考えます。この研究は本学アスリートにおける感染傾向を統計学的手法を用いて多方面から解析するものです。
④研究の目的・意義	アスリートにおける感染は競技力の低下につながり、各種競技会への参加にも関わるため、大きな問題であると考えられます。本研究では、一般に感染しやすい環境にあり、回復時には早期の競技復帰に配慮が必要な特殊環境にある（*）アスリートの感染傾向を明らかにすることを目的とし、その足掛かりとして本学の学生アスリートの感染傾向を分析するものです。本研究の結果は今後の本学、ひいては全国アスリートの感染予防に貢献することが期待されます。今回オプトアウトでも実施する理由として、研究対象者に全員に同意を取ることが困難であり、既存診療情報のみを用いる侵襲のない研究であることがあげられます。様々な学生アスリートの感染状況が集約されている記録は大変貴重であり、公衆衛生上および全国のアスリートに大きな利益をもたらすことが期待されます。 （*）K. Fukushima, et al. COVID-19 infection and return-to-play outcomes of elite athletes in Japan: a retrospective descriptive study. BMJ Open Sport Exerc Med 2025, 11(4), e002731. DOI: 10.1136/bmjsem-2025-002731
⑤研究期間	倫理審査委員会承認日 ～ 令和 9 年 3 月 31 日
⑥情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	鹿屋体育大学において 2022 年 1 月～2023 年 5 月に本学の感染症報告フォーム等により、保険管理センターに報告された感染者の記録を研究データとして転用し、厚生労働省が公表している鹿児島県の感染者数を基に、本学の感染傾向について統計的な解析を実施します。使用するデータは個人が特定されないように匿名加工もしくは仮名加工等を行い、研究に使用します。分析に使用されるデータは匿名化されており、個人が特定できない状態にあるものを、統計的手法を用いて全体的に評価します。すべての研究者が閲覧できる解析データは匿名化されています。課外活動、検査日、学年のデータを一つのファイルで管理します。データ

	は、研究目的以外には使用せず、研究発表を行う場合は個人が特定されないように加工等を施します。究分担者が外部機関に所属しているため、データに関してはクラウド上でパスワードを設定し関係者以外が閲覧できない状態で管理を行います。
⑦利用または提供する情報の項目	年齢、性別、課外活動、住居、移動手段、PCR 検査日時と結果、待機場所と期間、症状、行動履歴等の記録
⑧利用の範囲	鹿屋体育大学・スポーツ生命科学系・樋口公嗣 今村総合病院・臨床検査部・安田 修
⑨研究試料・情報の管理について責任を有する者 (お問い合わせ先)	鹿屋体育大学 スポーツ生命科学系 准教授 樋口公嗣 Tel : 0994-46-4900 E-mail : higuchi@nifs-k.ac.jp
⑩事務局	鹿屋体育大学 研究・社会連携課 研究支援係 Tel : 0994-46-4820 E-mail : kokusai@nifs-k.ac.jp

以下は、過去に承認されたことがある場合

⑪承認番号	
⑫過去の研究課題名と研究責任者	